

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 22日

福島県知事 殿



提出者

住 所 福島県会津若松市中央三丁目3番22号

氏 名 武田土建工業株式会社
代表取締役 須藤 研二

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0242-24-1018

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	武田土建工業株式会社
事業場の所在地	福島県会津若松市中央三丁目3番22号
計画期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	中分類 総合工事業 小分類 一般土木建築工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 1,065,536千円（令和4年度実績）
③ 従業員数	15人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建築 土木 舗装 各建設現場 → 木くず → 中間処理委託（木質チップ） → がれき類 → 中間処理委託（再生骨材） 混合廃棄物

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙①のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	6,411.99 t	t
	(これまでに実施した取組) 受注量による増減が激しいため、特に取り組みを行っていなかった。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	6,047 t	t
	(今後実施する予定の取組) 現場施工方法の工夫、発注者との協議を行って、発生量の抑制を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類(コンクリートがら、アスファルトがら)、金属くず、ガラス陶磁器くず(石膏ボード、ALC板)、木くず、廃プラスチック類等に分別し、中間処理業者へ搬送する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も現状通り行い、社員、協力会社や処理会社に対し、分別の周知徹底を図っていく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度（ 4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用は行わない。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度（ 4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組) 自ら中間処理は行わない。		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	6,411.99 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	53.37 t	t
	再生利用業者への処理委託量	6,358.62 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 再生利用者に処理を委託している。 優良認定処理業者（株あいづダストセンター、及び株荒川産業への処理委託量を増やしたい。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	6,047 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	97 t	t
	再生利用業者への処理委託量	5,950 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	特になし。		
	再生利用者に処理を委託する。		
	優良認定処理業者 (株)あいづダストセンター、及び(株)荒川産業への処理委託量を増やしたい。		
※事務処理欄			

(第6面)

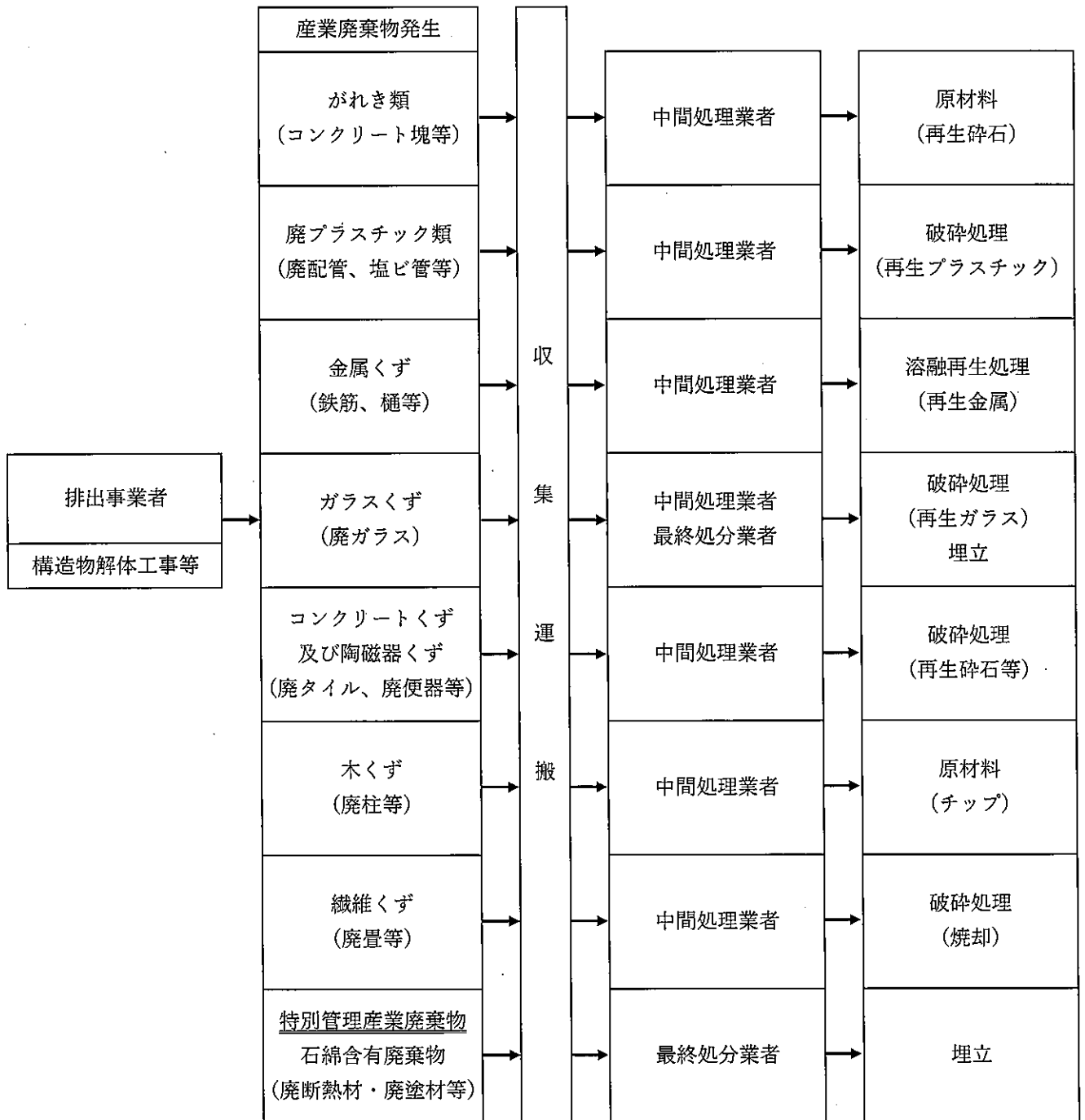
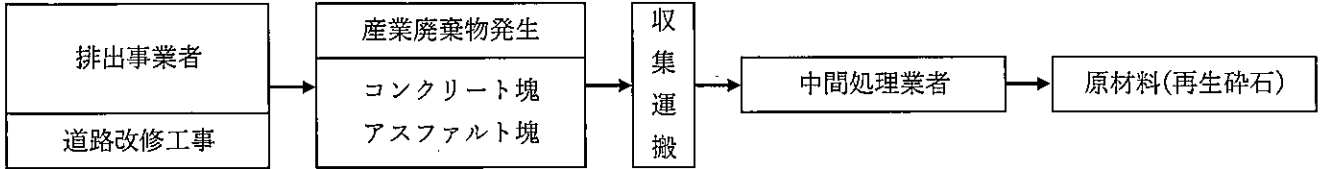
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

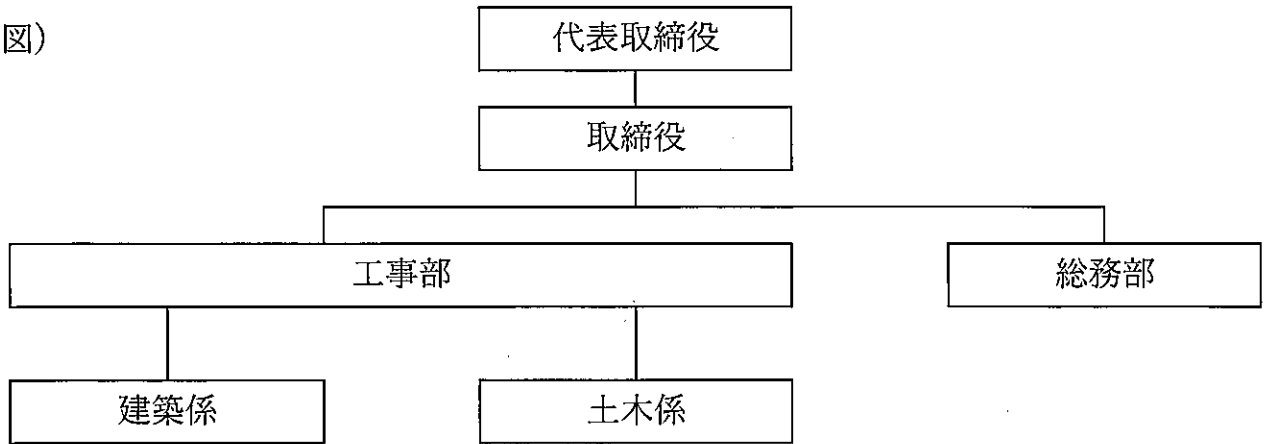
別紙①

○ 産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



(分担)

役割	役職/氏名	職務内容
総括責任者		代表取締役
廃棄物担当		総務部 人数：2名
廃棄物処理 総括責任者		工事部長 ・ 廃棄物処理方針の策定 ・ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
工事部(建築係)		・ 建築工事の産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 ・ 上記内容を工事部長及び総務部へ報告
工事部(土木係)		・ 土木工事の産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 ・ 上記内容を工事部長及び総務部へ報告
総務部		・ 産業廃棄物の種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等 ・ 処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理 ・ 行政に対する報告等 ・ 社内啓発

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○現状 前年度実績(令和4年度)実績

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	繊維くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	廃石綿等
排出量	6,358.62t	15.99t	6.88t	1.04t	23.25t	6.21t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	繊維くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	廃石綿等
排出量	6,000t	15t	6t	1t	20t	5t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○現状 前年度実績(令和4年度)実績

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	繊維くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	廃石綿等
自ら再生利用を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	

○計画 目標

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	繊維くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	廃石綿等
自ら再生利用を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

○現状 前年度実績(令和4年度)実績

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	繊維くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	廃石綿等
自ら熱回収を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	
自ら中間処理により減量した量	0t	0t	0t	0t	0t	

○計画 目標

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	繊維くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	廃石綿等
自ら熱回収を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	
自ら中間処理により減量した量	0t	0t	0t	0t	0t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

○現状 前年度実績(令和4年度)実績

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	繊維くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	廃石綿等
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	繊維くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	廃石綿等
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○現状 前年度実績(令和4年度)実績

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	繊維くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	廃石綿等
全処理委託量	6358.62t	15.99t	6.88t	1.04t	23.25t	6.21t
優良認定処理業者 への処理委託量	0t	15.99t	6.88t	1.04t	23.25t	6.21t
再生利用業者への 処理委託量	6358.62t	0t	0t	0t	0t	
認定熱回収業者 への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者 以外の熱回収を 行う業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	繊維くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	廃石綿等
全処理委託量	6,000t	15t	6t	1t	20t	5t
優良認定処理業者 への処理委託量	50t	15t	6t	1t	20t	5t
再生利用業者への 処理委託量	5950t	0t	0t	0t	0t	
認定熱回収業者 への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者 以外の熱回収を 行う業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t